

人 悠 YOU おかやま

平成 28年1月 Vol.31 (1月14日発行)



第23回健康生きがいくくりアドバイザー全国大会(2015年11月22日) & 健康生きがい学会第6回大会(2015年11月21~22日)が岡山県で開催された!



明けましておめでとうございます。

2015年11月、川崎医療福祉大学を会場に開催された同大会は成功裏に終了することができた。

「健生おかやま」の総員が大会の意義を共有し、それぞれ役割を果たしたことが今回の成功へ結びついたものと改めて感謝とお礼を申し上げたい。

いま、少子超高齢社会を迎えた

日本は世界をリードする長寿国である。長寿とは健康寿命の延伸であり、その原点が「健康生きがいくくり」であることは言うまでもない。その中で「健康生きがい」をリードする我々アドバイザーの役割が非常に高まり地域でも出番を待っている。そのことが今回の岡山大会が契機となって、広く社会に発信することができたと思う。要約すると概ね次の3点になる。

- ①両大会で課題が共有できたことで、健康生きがい概念が高揚された。
- ②滋賀県国松さんの「100歳大学構想」が発表されたことで、アドバイザー活動の見える化が図れた。
- ③大会を通して分科会、各地、各分野の発表によって、アドバイザーの役割と会員拡大の必要が浮き彫りになった。

そして、京極学会長がアドバイザー大会に参加されたことは、如何にアドバイザーに対する期待が大きかったかということである。

このように今回の両大会は超高齢社会をリードする、「新健康生きがいくくり活動元年」とも位置づけられるほどの意義は大きいものがあった。

改めてみなさまのご協力に感謝申し上げます。そして2016年が皆様にとって輝く年となることを願っている。

岡山県健康生きがいくくりアドバイザー協議会会長 河田 幸男

健生全国大会に参画して

全国大会に向けて、県内実行委員会を結成し、財団事務局長と連絡を取りながら、大会の成功に向けて精一杯の協力をしてきた。実行委員には25人が自主的に入ってくださり、それぞれの任務を責任をもって果たしていただいた。シンポジウムでは岡山の取組みを報告した。時間が延びていて、質疑応答がなかったのは残念である。

懇親会は、素晴らしい司会のもと参加者の協力もあり、予想以上の盛りあがりを見せた。終了後、参加者退場時、健生おかやまの仲間全員が出口でお見送りをしたのは大変良かった。観光オプションは、参加者は少なかったが、それだけに参加者同士の親密さも増し、児島、吉備路両コースとも観光ボランティアの説明は大変好評であった。私は吉備路コースに同行したが、新しい出会いもあった。

個人的には、資格認定研修同期生が新潟・栃木・京都・徳島から4人参加していて、久しぶりに懇談することができた。また、新潟の親友とはその後2泊3日の県内旅行もして、親交を一層深める忘れられない「こころ旅」となった。

大会終了後、県外の参加者数人から、労いと感謝のメールや手紙をいただき、岡山での全国大会開催に参画できたことを嬉しく思う。

事務局長 湯浅二郎

懇親会 (2015年11月22日)



全国大会メインイベントの懇親会は、「ミルキャン」で中島AD司会のもと約70名の出席者で行われました。

オープニングは会場一杯のADを前に、岡山健生総出演による「音楽で脳トレ」が飾り、続いて「どじょう搦り」「笑いヨガ」で盛り上げ、フィナーレはアコーディオンの伴奏による「みんなで歌いましょう」で締めくくりました。

特に、他県のADによるゲストコーナーは「チンドン屋（傘回し・南京玉すだれ）」や「手品」・「腹話術」などの熱演で、芸の奥深さを肌で感じ、多くのADとの交流による絆が出来た事が、今後の岡山健生の財産になったと感じました。

懇親会企画担当として、他県のAD仲間から「面白かった!」「見ごたえがあった!」との声を聞き、熱心かつ寛大な健生の伝統に感謝し精進していきたいと思いました。今後の岡山健生の発展につながる事を全員で誓い、会場を後にしました。

森山博文 AD

観光オプション 児島コース

去る11月23日には、健康生きがいつくりアドバイザー協議会のツアー参加のみなさんと一緒に児島の観光地巡りをしてきました。



私は、健生児島のみなさんと一緒に、ガイド役として参加致しました。当日は、懸念された雨も降ることなく、また格別寒くもなく、最良とは言えないまでも、比較的良い観光日和でした。

瑜伽大権現が最初の観光地でした。すでに境内のあちこちでは紅葉が見られ、多宝塔の広場に建っている「四方みな 表参道 油加の秋」という句碑にふさわしい景観でした。

急な石段を登り高いところにある拝殿に行かれた方々もおられ、さすが健生という印象でした。

次に訪問したのが、塩田王 野崎武左衛門が一代で築いたと言う身代を余すところなく今に伝える旧野崎邸の立派な建物と庭を拝見しました。蔵の中には、すでに来年の干支にちなんだ掛け軸などが飾られていました。

そして天下の名勝とうたわれた鷲羽山、この日はあいにくの曇天で、沖合の島々は霞んでおり、さらには、その美しさの引き立て役である潮目も見ることが出来ませんでした。残念としか言いようがありませんでした。

それにしてもみなさんは健脚でした。良く歩いた分、回船問屋での昼食やビールは格別の味あいだったのではないのでしょうか。

ともあれガイド役という大役を無事終えることが出来たことを感謝しています。健生児島のみなさんと一緒に、お客さんをお児島駅まで見送りして解散致しました。みなさん、本当にご苦労様でした。

矢吹勝利 AD

観光オプション 吉備路コース

倉敷駅南口に集合し、全員集合して、集合時間前に出発、一路総社へ。

今回は、8:30 出発して、岡山北口解散が 12:40 の計画。参加人員 13 名、健生の協力者も参加されての数字。天候も良く、昨日までの生きがい学会や・部門別発表会も無事終了しての、車内での雰囲気も和やかである。



最初の見学場所は、井山宝福寺（雪舟が涙でネズミの絵を描いたという逸話で有名）。禅宗寺の仏殿や七堂伽藍を備えた境内は、丁度时期的にも、紅葉の時期で、静寂さの中で美しさは格別で趣きもある。

ガイドの名調子で案内も済ませ、次の鬼の城へ、中型バ



スを利用しているため、市内を大回りして、細い道を駐車場まで上る。総社市内が一望できる西門まで登り、展望と温羅伝説（岡山の桃太郎のもとになっている温羅伝説の鬼が住んでいたと言う伝承）を聞く。展望台（400m）まで登り、一路吉備路の中心地の備中国分寺へとバスを走らす。



ここでは、五重塔とこうもり古墳に立寄る。

備中国分寺は、国の重要文化財であり、吉備路のシンボルでもある。菜の花の咲くころは格別である。五重塔の初層内の天井には、花の装飾画が描かれており、白象や鳳凰などの聖獣に乗った如来増もある。

こうもり古墳は岡山県下三大巨石古墳の一つで、形状は、前方後円墳である。（造山古墳は、バスの車窓からなので、全国4位の前方後円墳である事を連絡させてもらいました。）ここでの観光も終わり、バスは一路吉備路を岡山駅西口へとすすめて、途中の吉備津神社も通過しましたが、13時頃の到着で、楽しい吉備路のコース観光でした。お疲れ様でした。

田野 昇 AD

第18回健生のつどい・懇親会



去る12月19日(土)に第18回健生のつどい～定例会・全国大会実行委員会反省会～の終了後、懇親会のため会場を駅前の居酒屋「竹取御殿」へ移した。

新会員を含め19名が参加した。河田会長の「忘年会を望年会と考えよう」の挨拶で開会、時間の経過とともに仲間との会話も個人情報？の交換や人生の生き方など話が弾み盛り上がりを見せた。

宴もたけなわの中、活動状況の報告や人生の軌跡の残し方、ユニークな自己紹介などしっかりコミュニケーションの場となった。

忘年会を望年会のごとく、さらに来年への飛躍の活力となったと感じております。

玉井道子 AD

編集後記

おかげさまで広報担当となり、4回目の発行をさせていただくことができました。ひとえに皆様方のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。不定期な発行となりご迷惑をおかけしておりますが、何卒よろしく願いいたします。

今回はうれしい全国大会が紙面を飾りましたが、皆様方の活動もしっかり載せていきたいと思っております。原稿お待ちしております！！

携帯 090-1358-9696 [パソコンメール kintarou0913@hotmail.com](mailto:kintarou0913@hotmail.com) 広報部長 吉田公子